

## 二者会話場面における指示詞（コソア）の選択

杉村 泰

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

sugimurayasushi@gmail.com

### 1. はじめに

従来日本語の指示詞（コソア）は次のように分類して説明されている。

- I. 現場指示（①融合型、②対立型）
- II. 非現場指示（③文脈指示、④観念指示）

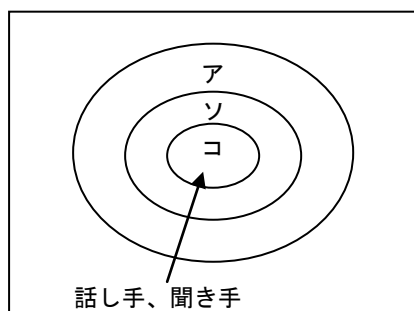


図1 現場指示（融合型）

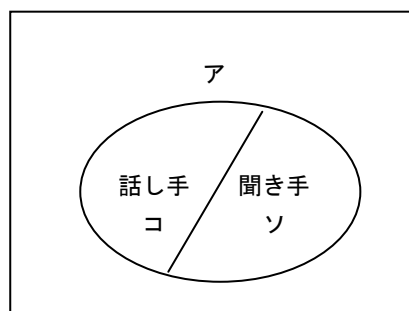


図2 現場指示（対立型）

しかし、次の点において検討の余地がある。

(A) 遠近感は単に距離では測れない。

(1) [映画館で一緒に映画を見ながら]

A : (この、その、あの) 女優の名前、何て言うの？

B : (この、その、あの) 女優の名前は深田恭子だよ。

(B) 融合型と対立型は必ずしも自明なものではない。

(2) [相手の口の口紅を見て]

A : (この、その、あの) 口紅、すてきだね。

B : ありがとう、(この、その、あの) 口紅はパリで買ったのよ。

(C) 現場指示と非現場指示の切り替え

(3) [友達の部屋で一緒にBの子供の写真を見ながら]

A : (この、その、あの) 子、最近見ないけど、今どうしてるの？

B : (この、その、あの) 子は、去年交通事故で死んじゃったの。

## 2. 先行研究

李賢淑（2010:178）は「筆者は実体験で、一緒に映画館で映画を見ている友人（日本人）が、映画の出演者を指差し「この人、誰？」というのを聞いて、なぜ映画の中の人物は物理的には遠いところにあるのに「あの」ではなく「この」という近称の指示語を使うのだろうか」と疑問に思ったことがある」（p. 178）と述べ、「本研究の目的は現場指示（特に融合型）」の使用実態調査により、韓国語母語話者と日本語母語話者の指示対象の捉え方、その認識のあり方（物理的・心理的遠近感覚）を把握し、両者の共通点及び相違点を探ることで、その成果を指示語の指導に貢献できる資料としたい」（p. 178）として、表1の場面の指示詞選択について論じている。

表1 仮説に基づいた分類基準（李 2010 の表3）

現場指示の融合型				
場面の状況	問	場面	指示対象	仮説
目に見える 指示対象	問1	6畳の部屋	テレビ	A：実際の事物と画面の中の 人物の差
	問2	6畳の部屋	テレビの中の人物	
	問3	映画館	映画に出ている人物	B：障害物の有無の差
	問4	バス	バスの窓の外の大画面スクリーンに 映っている人	
	問9	タクシー	20メートルくらい離れている建物	D：動的な空間と静的な空間 の差
	問10	タクシー	20メートルくらい離れている建物	
目に見えない 指示対象	問5	友達の家	音楽	C：①回想文と推量文の差 ②推量文の中での事物の 特性や種類による差
	問6	友達の家	物が割れる音	
	問7	友達の家	動物の鳴き声	
	問8	友達の家	赤ちゃんの泣き声	

## 3. アンケート調査

### アンケート内容

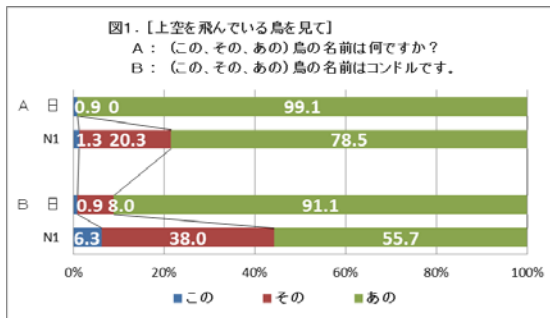
李賢淑（2010）のアンケートを参考にして、図1～図16のようなアンケートを32問作成した。本稿ではそのうちの一部の特徴について論じる。

### 被験者

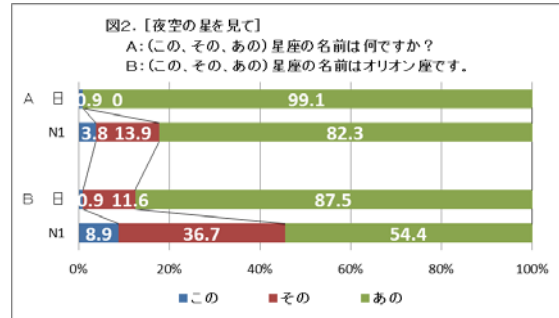
- ・日本語母語話者：名古屋大学生 112人（2016年5月に実施）
- ・日本語学習者（中国語母語話者）：上海師範大学、南国商学院、大連工業大学、西安外国語大学の日本語学科の学生・N1取得者 79人（2016年5、6月に実施）

## 4. 指示詞（コソア）の選択傾向

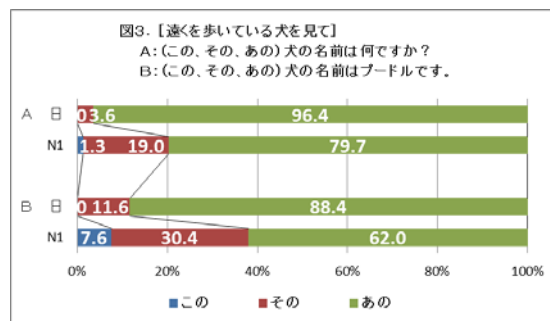
### 4.1 遠近感の判断基準



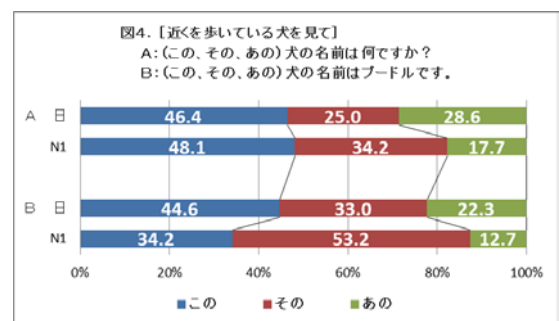
→遠い



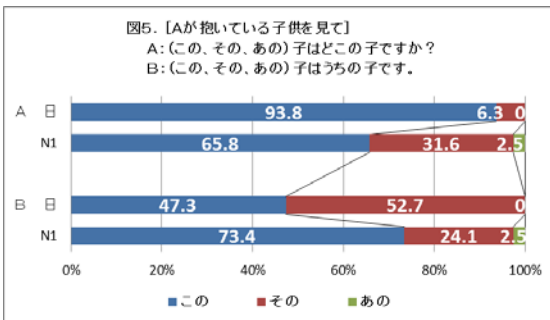
→遠い



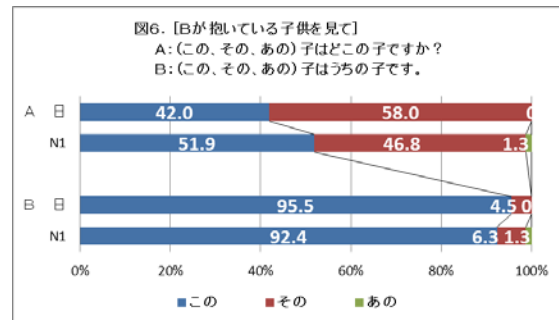
→遠い



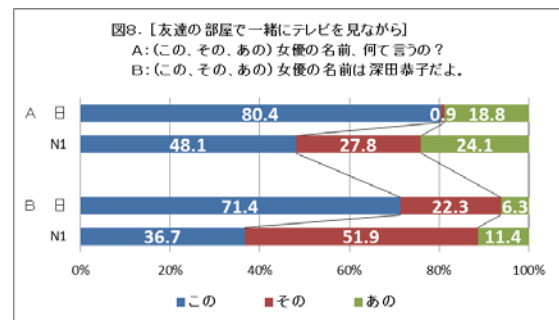
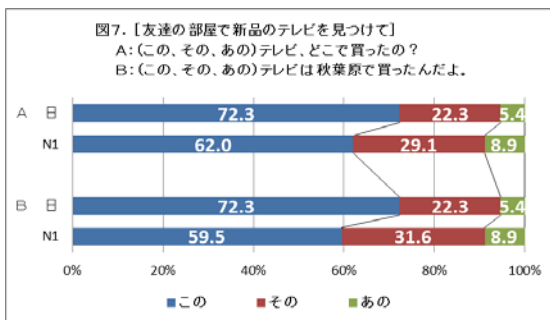
→遠称・中称・近称で判断が分かれる



→自分が抱いていれば近称、相手が抱えていれば近称と中称で判断が分かれる



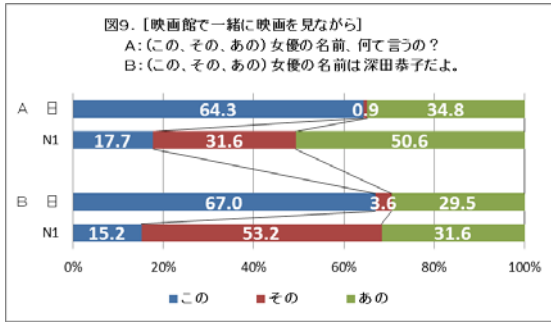
### 4.2 実際の事物と画面の中の人物



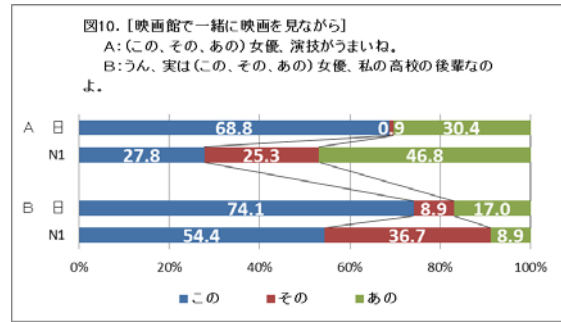
→①実際の事物の場合はソが現れるが、画面の中の人物の場合はソが現れない（日本人）

→②Bの発話においてコは現場指示、ソは現場指示かもしれないし文脈指示かもしれない

二者会話場面における指示詞（コソア）の選択

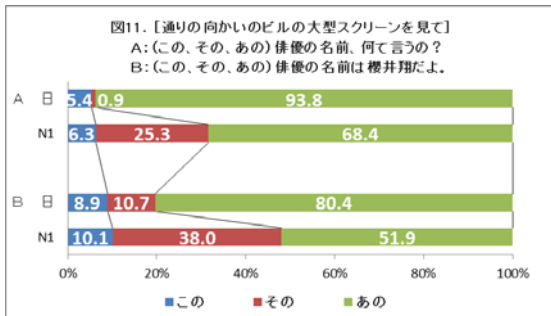


→図8よりアの比率が高い

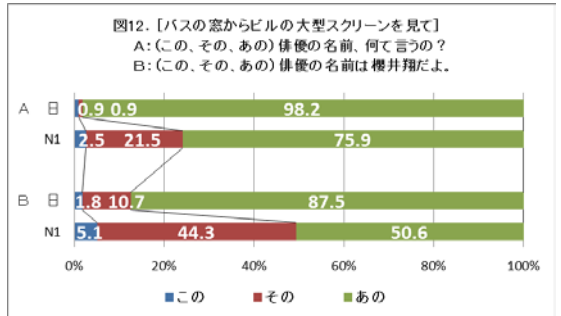


→学習者のBは図9よりのこの比率が高い

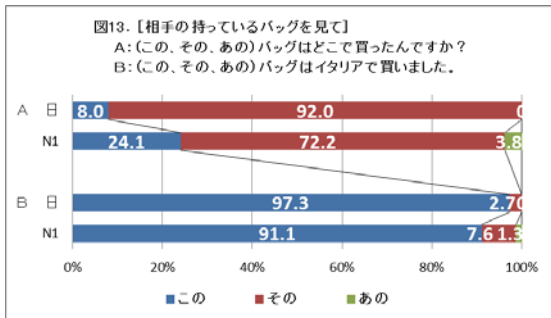
4.3 障害物の有無



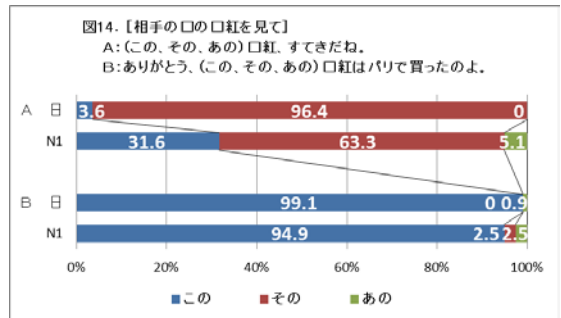
→障害物の有無は関係ない



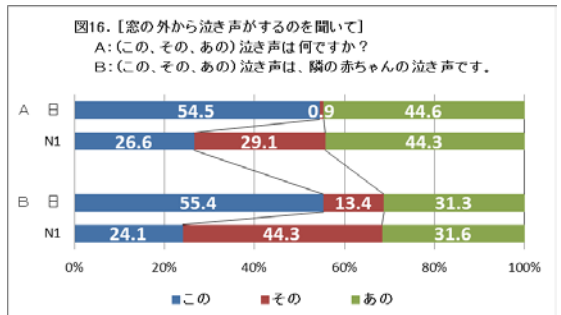
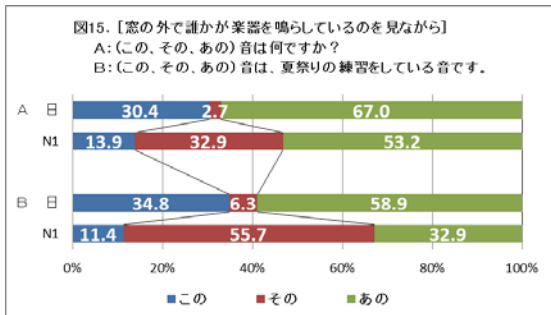
4.4 融合型と対立型



→学習者は相手のものでもコで捉える人がいる



4.5 音の場合 (音源が見えるか見えないか)



参考文献

→音源が見えるとアの比率が高くなる

李 賢淑 (2010) 「現場指示使用に見られる認識の差に関する韓日対象研究 ―現場指示の融合型を中心に―」『日語日文学』第45輯, 大韓日語日文学會, pp. 177-196